

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「ドイツ語インフォメーションneu2」 秋田他著 朝日出版社
補助教材等	「やさしい！ドイツ語の学習辞典」 根本道也編著 同学社
学習上の留意点	
<p>日々の習熟による慣れが、語学の習得を効果的にし、無理なく上達していくためのポイントになる。最低でも、授業の前、10分程度でいいので、復習を怠らないこと。また、新規に習ったことは、課された練習問題で自力で解いてみて確認する、そういう地道な努力を忘れないこと。最初は、まず単語や文章がスラスラ読めるように受講生一緒に、しっかり声を出してやりましょう。テキストは当然ですが、辞書も、必ず持参すること。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>ドイツというと、日本と同じく、もの作りの大国である。ベンツやフォルクスワーゲン、BASF(巨大化学会社)、ジーメンス(総合機械電機メーカー)などはおなじみである。また、バッハ、モーツァルト、ベートーベンなどの音楽や哲学思想でもたくさんの偉大な成果を挙げている。ほかに、ドイツサッカー、観光地のノイシュバンシュタイン(新白鳥城)、オペラ、アウトバーンドライブ、ソーセージにビール、クリスマス夜市、など何でもある。何でもいいので各人、ドイツ体験を目指して、この1年、ドイツ語を楽しくやりとげましょう。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	はじめに	オリエンテーション、ドイツと日本の関係、ドイツ語の歴史、英語との比較、日本語になっている身近なドイツ語を学び知ることができる。	ドイツ語の基本単語の課題を提出すること。
2	発音練習(1)	アルファベット、母音・変母音についてその基本に従って正確に発音できる。	発音課題を提出のこと。
3	発音練習(2)	子音の特殊な読みを知り、日常よく使われる挨拶の言葉、数詞をスムーズに読めるようになる。	発音課題を提出のこと。
4	第1課 代名詞 動詞の人称変化	動詞の変化の基礎を理解できる。	発音テストを行う。
5	第1課 sein 疑問詞	seinの変化と表現、疑問文を書くことができる。	動詞変化の課題を提出する。
6	第2課 haben 名詞の性	habenの変化と表現、名詞の性と冠詞の関係を理解できる。	課題提出。
7	第2課 語順と決定疑問文	語順の基本を理解できる。	課題提出。
8	中間試験		
9	第3課 名詞4格	中間試験の解説を行う。名詞格変化を正確に理解する。	課題提出。
10	第3課 複数形と接続詞	名詞複数の作り方、接続詞の表現を理解する。	課題提出。
11	第4課 不定冠詞	不定冠詞の変化と表現を取得する。	課題提出。
12	第4課 所有冠詞と否定冠詞	不定冠詞の変化と表現を基礎に、所有・否定の二つの冠詞も学習する。	課題提出。
13	第5課 不規則動詞	不規則動詞の扱いに慣れる。	課題提出。
14	第5課 3格、疑問代名詞(人)	与格と疑問詞(wer)の表現を理解する。	課題提出。
前期末試験			
15	試験返却・解答解説	試験の解説を行う。ここまでのまとめを行う。	夏季休暇レポートを課す。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	第6課 不規則動詞(その他)、人称代名詞	不規則動詞(その他)、人称代名詞(3・4格)が実際に運用、理解できる。	復習テスト(前期末内容)を課す
17	第7課 前置詞	前置詞の格支配を理解し運用できる。	課題提出を課す。
18	第8課 話法の助動詞	英語の、can, must, will, mayなどと比較しつつ、違いを踏まえたうえで、正確に使えるようになる。	課題提出を課す。
19	第9課 分離動詞	非分離動詞と合わせて分離動詞のような複合動詞を理解し、運用できる。	課題提出を課す。
20	第9課 命令形、時刻表現	会話において重要な表現となるこれらをきちんと把握する。	課題提出を課す。
21	第10課 形容詞の変化	複雑に見えるが、実はシンプルなので、その要点を理解し使えるようにする。	課題提出を課す。
22	第10課 再帰代名詞と再帰動詞	他動詞と自動詞の観点から説明でき、実際に表現できるようにする。	課題提出を課す。
23	中間試験		
24	第11課 三基本形	中間試験の解説を行う。動詞の3基本形を知ることであらゆる時制を表現できるようにする。	課題提出を課す。
25	第11課 過去変化 従属接続詞	三基本形の応用ができ、副文の概念を把握できるようにする。	課題提出を課す。
26	第12課 現在完了	日常会話でよく使われる現在完了を中心に完了表現に習熟する。	課題提出を課す。
27	補足	関係代名詞を使った表現法を理解し、運用できるようにする。	課題提出を課す。
28	総合演習	演習問題を行う。	
29	後期のまとめを兼ねた試験解説	まとめと演習を行う。	
学年末試験			
30	試験返却と解答解説	試験の解説を行う。全体のまとめを最後に行う。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			60 時間
自学自習			30 時間